



目の表面反射とLED照明を使った 新しい視線検出システム

元、大阪大学サイバーメディアセンター講師 中澤篤志(現在、京都大学 准教授)

技術概要

●技術概要・従来技術との比較

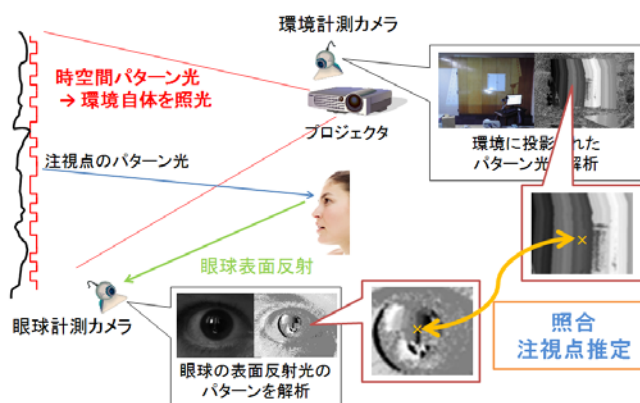
「人がどこを見ているか」を推定するシステムは、医療や製品開発(車や店舗内の商品陳列等)で盛んに使われています。

しかし従来のシステムは、人の頭部にカメラなどの装置をつけなければなりません。

●特徴

このシステムは、頭部にデバイスをつけるのではなく、対象をLED照明で照らすことで見ている物を判別できるシステムです。

[提案]パターン光投影による視線検出



環境の反射光と眼球の表面反射光を直接的に対応付け視線検出を行う新方式

実用化イメージ

- ✓ 子供の視線検出(医療への応用、特に自閉症の早期発見)
- ✓ 車の運転におけるドライバーの視線検出
- ✓ エンターテインメント用途(目の動きによるコントロール)

知財状況

●公開番号

特開2012-055418 (学内整理番号; K20100043)

研究者からの一言

・本研究は非装着であるという特徴を持ちますが、目の領域を大きく撮影するためのトラッキング(追跡)カメラ等の開発が必要です。当方でも取り組みを始めていますが、何らかのノウハウがある企業等を歓迎します。

・上記以外にも、従来の視線検出では大きかった誤差問題を解決できるという利点もありますので、興味を持たれた場合には詳しい資料・ミーティング等設定いたします。

研究者情報

部局・専攻: 元大阪大学サイバーメディアセンター
役職・氏名: 講師 中澤篤志(現在、京都大学准教授)

研究室URL:

<http://www.ime.cmc.osaka-u.ac.jp/~nakazawa/>
http://www.human.jst.go.jp/researcher/2ki_10.html